

令和3年 市長新春あいさつ

新年明けましておめでとうございます。
西条市長の玉井敏久です。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

4年間、全力投球を貫いた一期目は瞬く間に過ぎ去り、この間、市民の皆様には市政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜りましたことに、心から感謝を申し上げます。昨年は、私自身にとりまして集大成の年であり、「飛躍の年」と位置付けておりました。市長就任時に掲げた「ワクワク度日本一のまちづくり」の芽がしっかりと成長し、さまざまな場面で実を結びはじめたことを実感しております。

とりわけ、人口減少対策の一環として力を注いできた移住推進施策は、全国有数の「移住希望者が憧れるまち」へと進化させることができ、大変嬉しく思っています。

西条市長として二期目の重責を担わせていただくこととなり、新たなスタートとなる新年の意気込みを漢字一文字で、(あらためる)「改」と表しました。急速に進展する人口減少・少子高齢化を背景に、都市間競争もますます厳しくなっています。また、先の見えない新型コロナウイルス感染症対策では社会経済活動とのバランスを考慮した市政の推進に注力する必要があると考えております。

2021年の干支は辛丑(かのとうし)であります。

辛(かのと)は「新しくなろう」、丑(うし)は「芽を出そう」とする意味もあるそうで、このコロナ禍において「新たな出発」を感じさせる年の始まりであります。

私自身も、厳しい財政状況にある中で、抜本的な行財政改革を推し進めながら、持続可能な西条を、市民の皆様と共に創るために走り続ける覚悟ではありますが、決して縮こまることなくスピード感を持って、住民福祉の増進や市民の安全・安心に繋げる「走・攻・守」三拍子揃った西条市となるよう、目指すべき方向をしっかりと見据えるとともに、「全ては市民のため」この事を肝に銘じながら市政運営を推し進めてまいります。

結びに、市民の皆様にとって、健康で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。